

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.9

2012年7月度 活動報告 (2012年8月28日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



8月のルーテル教会救援は、石巻の川開き祭りからスタートしました。詳しくは次号でお伝えしますが、となりびとスタッフも石巻身体障害者“歩む会”の皆さまと共にパレードに参加させていただきました。震災から二度目の夏を迎える被災地では、週末ごとにどこかでお祭りが開かれています。鎮魂の祈りと、あの日から一歩ずつ前に進んで来たことの証しとしての笑顔が、被災地の夏に溢れています。

7月の活動を報告いたします。



南相馬市【ビニールハウス建設支援】



7月26日に南相馬市を訪問しました。ルーテル教会救援では南相馬市の地元の団体「六角支援隊」の相談を受け、仮設住宅の人たちのためのビニールハウスを2棟支援しました。仮設生活では体を動かす機会が減ったため、だんだんと体が弱ってしまう人も出てきていました。そこで、仮設の皆さんが自家菜園をすることで元気を取り戻せる



ようハウスを建てたのでした。六角支援隊では他団体や地主さんの協力も得て、現在5か所の農地にハウスを5棟建て、ハウスと露地で100人以上の方が自家菜園をやっているそうです。毎日畑に行くのを楽しみにしている方も多くこのことで、帰りには支援のお礼にと皆さんが育てた新鮮な野菜を頂きました。(佐藤)



【となりびと】2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



昨年の7月頃は、4月から続いていた石巻ボランティアセンターの受付や、2回目のボランティアバスパック、全国の皆さんの協力によって実現した「おすそ分けプロジェクト」など、泥出し以外にも支援の幅を広げている時期でした。5月の雑巾1000枚プロジェクトに続き実施された、おすそ分けプロジェクトでは、調味料・缶詰・

麺類・生活雑貨など多くの物資が集まりました。ひとつひとつ袋に詰め、皆さんにお配りしました。

今年に入り、全国から集まる「おすそ分け」は仮設に住まわれる皆さんに、憩を提供する“お茶菓子”に姿を変えました。様々な産地から茶葉も届き、昨年末から実施されている「お茶っこサロン」を盛り上げています。(抱井)



【全国からのご協力 & バザー向け商品ご紹介】



7月もお茶っこサロンにたくさんのご支援をありがとうございました。夏にぴったりの品々、感謝でした。引き続き、送付前にはご連絡をお願いいたします。



左) 登米市・南方仮設『立ちあがレイ』
大1800円・中1200円・小500円
中) 石巻・身体障害者“歩む会”の『幸せくるみ』(ストラップ) 500円
右) 石巻市北上町“にっこり手しごと村”
にっこり北上ミサンガ 600円

ご注文はお早めに! バザー販売品問い合わせ先: j-sasaki@jelc.or.jp